

ちよつといし話

～ 人生 ～

四月は新入社員が社会人として出発する希望に満ち満ちた月です。社会生活に於ける身のおきかたについて愚僧の独り言です。人生には「山あり谷あり、上り坂には下り坂」と、家康等々の人生訓があります。聞く所によりますと人生には加えてまさかと言う坂があり、まさか真っ逆さまになる事があるそうです。私達はまさかと言うさかに会わないですむ一生を送れたらと願うものです。それには「一攫千金、名聞利養を求めず」日々の精進により確実に少しずつ進んでいく姿勢が重要であるかと思えます。人生には幸運と不運の分岐点が必ず存在するものです。

その時に必要になるのが気の力です。運氣を呼ばなくてははいけません。天地の恵み神佛から受け取る気と、自分のルーツ（先祖）から受け取る気が重なり合って、やる気が出て気力が充実し本気になり、それが効果をもたらし、ついに幸運を呼ぶ事が出来る様になります。確かに人生は「楽あれば苦あり、苦あれば楽あり」の繰り返しがおお御座います。人生の荒波を乗り切っていく為には以前お話致しました健康が大事です。暇あれば神社、佛閣に詣で、社会に対して役に立てる自分であるように導き、守護して頂ける様、神様佛様に祈念致せば良いかと思えます。なかでも、お地藏様は六道能化（当山の六道巡り）や現世利益の菩薩様として庶民信仰の中で一番親しみやすい佛様であります。お地藏様は、お釈迦様没後から弥勒菩薩の出現までの長い年月を任され、我々の苦悩を救い、開運に導く為に佛国から此の世界に出向され、色々な所に立って孤軍奮闘してみえる菩薩様です。多くの尊像は修行態であり、坊主頭で手に宝珠と錫杖を持ち立ってみえます。善哉 善哉

善入院油掛地藏尊